

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	淑徳大学短期大学部
設置者名	学校法人 大乘淑徳学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
健康福祉学科	社会福祉専攻	夜・通信	0	0	17	17	7単位	
	介護福祉専攻	夜・通信			22	22	7単位	
こども学科		夜・通信		0		7	7	7単位
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

淑徳大学短期大学部ホームページで公開 https://www.jc.shukutoku.ac.jp/entry_img/kamoku2021.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	淑徳大学短期大学部
設置者名	学校法人 大乘淑徳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公表方法：学園ホームページにて公表 http:// www. hq. shukutoku. ac. jp/ 掲載ページ http://www. hq. shukutoku. ac. jp/wordpress/wp-content/themes/cocoon-child-master/document/trustee_2021. pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人理事長	2021. 4. 1 ~ 2025. 3. 31	教育連携
非常勤	元私立大学教授	2021. 4. 1 ~ 2025. 3. 31	教育・研究
非常勤	弁護士	2021. 4. 1 ~ 2025. 3. 31	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	淑徳大学短期大学部
設置者名	学校法人 大乘淑徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>《授業計画書の作成過程》</p> <p>①授業計画書(シラバス)を統括する教務委員会にて、シラバス掲載項目および記入要領、作成スケジュール等を決定</p> <p>②シラバス作成に関するFD研修会の実施</p> <p>③教務部長より、授業担当教員へ作成依頼→各教員にて記入要領に基づき作成</p> <p>④各授業担当教員が作成したシラバスを、教務委員会にて記入要領に基づき内容を確認し、修正が必要な科目については、当該授業担当教員へ修正依頼する。</p> <p>⑤すべての科目の修正が完了後、教務WEBシステムより、すべての学生・教職員および広く一般に公開される。</p> <p>《授業計画の作成・公表時期》</p> <p>作成時期：12月中旬～</p> <p>公表時期：3月下旬～</p>	
授業計画書の公表方法	<p>淑徳大学短期大学部ホームページで公開</p> <p>該当ページ：情報公開について</p> <p>該当箇所：(6)教育課程に関する情報 シラバス</p> <p>https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</p> <p>ゲストユーザーでログイン</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに記載された客観的な評価方法に基づき学習成果を判定し、規定された基準(以下に示す)により、厳格かつ適正に評価し単位を授与している。評価基準は各学生の学修成果に基づき、試験のみでなく学修への取り組み状況や事前事後学習等を評価に取り入れている。成績評価の内容は学習の目標に対する到達度の目安となっており、単位の認定は教員個人の恣意的判断で行われることはない。</p> <p>また、授業科目の履修は学生の判断によって登録されるが、履修モデルの提示や、修得を希望する免許資格ごとに要件一覧表を提示し、分野の専門性を考慮した科目を明確にしている。</p> <p>《成績評価基準》</p> <p>S : 100 点から 90 点 A : 89 点から 80 点 B : 79 点から 70 点 C : 69 点から 60 点 D : 59 点以下</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、平成 28 年度入学生より GPA 制度を適用し、ホームページでその制度について公表している。</p> <p>《GPA の具体的な内容》</p> <p>GPA は授業ごとの成績 (S・A・B・C・D) の評価それぞれに対して 4・3・2・1・0 のグレードポイントを付け、以下の計算式で算出した数値である。</p> <p>◆算出方法</p> <p>[(履修した科目の単位数×グレードポイント) の合計] / [履修した科目の単位数の合計]</p> <p>※編入生や入学前の既修得単位等の認定科目については、GPA の算出除外とし、その旨を「GPA 制度に関する規程」に定めている。</p> <p>《適切な実施状況》</p> <p>上記 GPA 算出方法により、学生や保護者が自身で確認できるようにしている。また、担当教員によるフォローアップ指導対象者の基準や成績優秀者表彰および奨学金制度の選考基準として活用している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学年次に配布する「学生便覧」に詳細を記載。 ・ 淑徳大学短期大学部ホームページで公開 <p>該当ページ：学生サポート 該当箇所：GPA 制度について</p> <p>https://www.jc.shukutoku.ac.jp/campus/support.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>《卒業の認定に関する方針の具体的内容》</p> <p>学科においてディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を制定し、ホームページにて広く一般に公開している。</p> <p>《卒業の認定に関する方針の適切な実施状況》</p> <p>卒業要件を次のように定め、卒業判定については教務委員会において審議し、議決された後に教授会へ提案し、教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。</p> <p>◆卒業要件</p> <p>こども学科 62 単位以上（教養科目 14 単位、専門科目 48 単位を含む）</p> <p>健康福祉学科</p> <p>社会福祉専攻 62 単位以上（教養科目 16 単位、専門科目 46 単位を含む）</p> <p>介護福祉専攻 62 単位以上（教養科目 16 単位、専門科目 46 単位を含む）</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<p>淑徳大学短期大学部ホームページで公開</p> <p>該当ページ：情報公開について</p> <p>該当箇所：(7) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準</p> <p>https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html</p> <p>該当ページ：淑徳大学短期大学部『三つの方針』</p> <p>該当箇所：こども学科</p> <p>https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kodomodo</p> <p>該当箇所：健康福祉学科</p> <p>https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kenko</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	淑徳大学短期大学部
設置者名	学校法人 大乘淑徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu
収支計算書 又は損益計算書	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu
財産目録	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu
事業報告書	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu
監事による 監査報告 (書)	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/wordpress/accounting/#num_zaimu

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画 (名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/self.html https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/evaluation.html 「淑徳大学短期大学部 自己点検・評価報告書」を作成している。HPでの公表に加え、 本学総務部に備え付けており、受付で申し出ただいで閲覧できるようにしている。

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法: https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/evaluation.html 該当箇所: 淑徳大学短期大学部に対する機関別認証結果

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 健康福祉学科社会福祉専攻
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html)
(概要) 社会福祉全般の専門的知識・技術をもって、より豊かな福祉サービスを提供しうる社会福祉従事者、医療事務従事者の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kenko)
(概要) 社会福祉専攻では、62 単位の単位修得と必修等の条件を充たし、以下の知識と能力を修得した学生に卒業を認定し学位を授与します。 【短大共通項目】 (1) 本学の目指す建学の精神「大乘仏教精神」に基づく共生の理念と「感恩奉仕」を十分に理解し、自らの人格向上および社会福祉・教育の増進に寄与できる能力を修得している。 (2) 現代社会における多様な問題に対して多面的な視点から論理的に分析し、問題を解決する能力を身に付けている。 (3) 専門職者としての高い倫理観と使命感を持ち、他者と協働できるコミュニケーション能力を有している。 (4) 各種専門職における必要な知識・技能を有し、保育者として社会と地域に貢献できる以下の基礎的な能力・知識・技術を有している。 【学科独自項目：社会福祉専攻】 社会福祉関係 1 人間と社会の関係および、現代社会における福祉制度の意義や理念等について理解している。 2 総合的かつ包括的な相談支援の知識と技術を修得し、利用者支援ができる。 3 地域福祉の基盤整備と開発に関する知識と技術を修得し、福祉ネットワークづくりができる。 4 専門的対人援助職である社会福祉士に必要な「理論・制度・サービスの理解」「援助の方法・技術の理解」についての知識・技術を総合的に修得し、利用者に対する支援ができる。 5 福祉専門職としての基本的態度および、人権を尊重する高い倫理観を有している。 医療事務関係 1 医療保険制度や診療報酬の仕組みを理解し、診療報酬請求事務に関する知識と基礎的な能力を身に付けている。 2 医療事務職に必要な基礎医学や医療用語、医療関連法規の知識を修得している。 3 医療マネジメントに関する基礎的知識および経営課題を発見・解決するための思考力、分析力を有している。 4 診療録の内容精査と ICD コーディング技能を有している。 5 医療情報システムに関する基礎的知識を有し、医療情報技術の推進役となることができる。 6 医療従事者に求められる高い倫理観およびホスピタリティマインドを有している。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kenko)

(概要)

本専攻では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、次のような教育内容と方法を取り入れた授業を実施し、教育評価を行います。

[①教育内容]

(1) 卒業必修科目である「宗教」、「共生論」により建学の精神について学ぶと共に、その具体的実践としての地域貢献、「ボランティア活動」を必須とすることで、実社会に主体的に参加する心構えや地域との繋がりなどの共同的な姿勢について体験的に学びます。

(2) 教養教育を担う主要な科目群である教養科目を複合的に学ぶことで、専門的な学修に繋がる知識や技能と主体的に学ぶ姿勢・態度、社会人として必要な思考・行動様式を身に付けます。

(3) 社会福祉または医療事務従事者等の現場で求められる知識・技能の修得のための専門科目を分野別に体系性・順次性を考えて配置しています。また、体系的な教育課程を明確化するため、学修成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示した「カリキュラム・マップ」を作成しています。これにより、学修内容の順次性や科目間の関連性、コース全体の学修構造を俯瞰することができます。社会福祉コースにおいては、「社会福祉士養成施設及び介護福祉士養成施設の設置及び運営に係る指針について」（厚生労働省社会・援護局）に基づき、専門資格取得の科目を編成しています。

(4) 授業で修得した知識および理論の実践の場として、ソーシャルワーク実習または医療施設実習を実施します。

(5) 1年次の演習科目（ゼミ）では、初年次教育等を通して短大への適応をはかるとともに、主体的な学びの中で論理的思考力や文章表現力、コミュニケーション・スキルを修得します。2年次の演習科目（ゼミ）では、卒業研究を必修とし、専門科目を中心とする教育内容の統合と総合化を行います。

(6) 医療事務・秘書コースにおいては、獲得した専門的知識・技能を活用して、医療事務系および簿記・情報処理系の資格を積極的に取得します。

(7) 卒業後の希望進路に応じた履修モデルを提示するとともに、学生の適性やキャリア形成を見据えた組織的なキャリア教育を展開します。

[②教育方法]

(1) 知識の修得だけでなく、主体的な学びの力を高めるために、参加型授業や授業外の積極的な学修などアクティブラーニングを取り入れた教育方法を実践します。

(2) シラバス（授業計画）には、卒業認定・学位授与の方針に基づく学修の到達目標、評価基準、授業内容、授業外学修等を具体的に記載します。

(3) 実学教育を重視し実践するために、各専門職に応じた現場実習を段階的にを行います。

[③評価]

(1) 学年ごとの単位取得率の評価を行うとともに、GPAによって教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を査定します。また、GPAによる学生個人の評価を学修支援・指導に活用します。なお、個々の科目の単位認定にあたっては、到達目標の内容を修得しているか否かに留意し、厳格な成績評価を行います。

(2) 社会福祉コースでは、学修成果を評価するため、専門的対人援助者である社会福祉士に必要な「理論・制度・サービスの理解」、「援助の方法・技術の理解」についての知識・技術を総合的に修得し、福祉サービスの提供ができることができるかどうかを確認するため、2年次に「OSCE（面接試験）」及び「CBT（知識試験）」を実施して、到達目標に達しない学生を把握し再学修の機会を与え、その達成を求めます。医療事務・秘書コースにおいては、学修成果を評価するため、医療事務、秘書、情報処理、簿記等の資格取得状況を確認します。

(3) 希望する職業へ就職できたかどうか（就職率、資格・免許を活かした専門領域への就業率）、または進学等の成否について確認し、学修成果の達成状況を査定します。

(4) 授業評価アンケートを実施し、個々の授業内容、授業方法の改善や組織全体として授

業が円滑に運営されているかどうかの検証を行います。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kenko)</p> <p>(概要) 本学科は、卒業認定・学位授与の方針および教育課程の編成・実施の方針との関連性を踏まえて、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めます。</p> <p>[①求める学生像] (1) 高等学校で履修した学習内容について理解し、主要科目に関する基本的な知識を修得できている。 (2) 本学科の教育方針および福祉、医療、介護分野に強い関心を持ち、明確な目標と強い意志を有し、その実現に向けて努力できる。 (3) 自分の意見や考えを正しく論理的に表現できる力を備えている。 (4) 集団の中で共に学び成長していけるような協調性・柔軟性および基礎的コミュニケーション能力を有している。 (5) 生命の尊厳を深く理解し、様々な状況におかれている人々に寄り添える温かな人間性と主体的な態度を有している。 (6) 知識や技術だけではなく幅広い教養と、より人間的な「心」を養いたいと考えている。</p> <p>[②入学選抜の方法] 次の3つの方法を単独または複数組み合わせ選抜を行う。 (1) 高等学校等での評定平均値および活動の履歴・成果等に関する書類審査 (2) 面接 (3) 高等学校等での履修科目に対する学力検査</p> <p>[③入学前に学習しておくことが期待される学習内容および学習態度] (1) 福祉の専門的知識と技術を学ぶために必要となる基礎的学力（高等学校等で履修した主要教科・科目）およびコミュニケーション能力 (2) 社会や福祉、医療に対する興味・関心の萌芽、探求的な態度と姿勢</p>
<p>学部等名 健康福祉学科介護福祉専攻</p> <p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html)</p> <p>(概要) 現代の介護サービスに対応すべく専門的知識・技術をもって、人間の尊厳を尊重した人間性溢れる介護福祉士の養成を目的とする。</p> <p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kaigo)</p> <p>(概要) 介護福祉専攻では、62単位の単位修得と必修等の条件を充たし、以下の知識と能力を修得した学生に卒業を認定し学位を授与します。</p> <p>【短大共通項目】 (1) 本学の目指す建学の精神「大乘仏教精神」に基づく共生の理念と「感恩奉仕」を十分に理解し、自らの人格向上および社会福祉・教育の増進に寄与できる能力を修得している。 (2) 現代社会における多様な問題に対して多面的な視点から論理的に分析し、問題を解決</p>

する能力を身に付けている。

(3) 専門職者としての高い倫理観と使命感を持ち、他者と協働できるコミュニケーション能力を有している。

(4) 各種専門職における必要な知識・技能を有し、保育者として社会と地域に貢献できる以下の基礎的な能力・知識・技術を有している。

【学科独自項目：介護福祉専攻】

(1) 他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身に付け、尊厳を支えるケアを実践できる。

(2) 身体的・心理的・社会的支援の重要性を理解し、具体的な支援方法が説明できる。

(3) 介護に関する社会保障の制度や施策の基本的理解ができ、その概要を説明できる。

(4) コミュニケーションの取り方の基本を身に付け、利用者・家族・チームに対して円滑なコミュニケーションを図ることができる。

(5) あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を修得し、実践できる。

(6) 介護実践の根拠を理解し、状況に応じた介護を実践できる。

(7) 利用者一人ひとりの状況を的確に把握し、介護ニーズに対して介護過程の展開ができる。

(8) 多職種の役割を理解し、利用者本位のサービスを提供するため、多職種協働によるチームアプローチの必要性を説明することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kaigo>)

(概要)

本専攻では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、次のような教育内容と方法を取り入れた授業を実施し、教育評価を行います。

[①教育内容]

(1) 卒業必修科目である「宗教」、「共生論」により建学の精神について学ぶと共に、その具体的実践としての地域貢献、「ボランティア活動」を必須とすることで、実社会に主体的に参加する心構えや地域との繋がりなどの共同的な姿勢について体験的に学びます。

(2) 教養教育を担う主要な科目群である教養科目を複合的に学ぶことで、専門的な学修に繋がる知識や技能と主体的に学ぶ姿勢・態度、社会人として必要な思考・行動様式を身に付けます。

(3) 介護福祉等の現場で求められる知識・技能の修得のための専門科目を分野別に体系性・順次性を考えて配置しています。また、体系的な教育課程を明確化するため、学修成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示した「カリキュラム・マップ」を作成しています。これにより、学修内容の順次性や科目間の関連性、コース全体の学修構造を俯瞰することができます。「社会福祉土養成施設及び介護福祉土養成施設の設置及び運営に係る指針について」（厚生労働省社会・援護局）に基づき、専門資格取得の科目を編成しています。

(4) 授業で修得した知識および理論の実践の場として、介護福祉実習（施設実習 在宅実習）を実施します。

(5) 1年次の演習科目（ゼミ）では、初年次教育等を通して短大への適応をはかるとともに、主体的な学びの中で論理的思考力や文章表現力、コミュニケーション・スキルを修得します。2年次の演習科目（ゼミ）では、介護・福祉分野における課題研究を必修とし、専門科目を中心とする教育内容の統合と総合化を行います。

(6) 獲得した専門的知識・技能を活用して、介護・福祉系の資格を積極的に取得します。

(7) 卒業後の希望進路に応じた履修モデルを提示するとともに、学生の適性やキャリア形成を見据えた組織的なキャリア教育を展開します。

[②教育方法]

(1) 知識の修得だけでなく、主体的な学びの力を高めるために、参加型授業や授業外の積

極的な学修などアクティブラーニングを取り入れた教育方法を実践します。

(2) シラバス（授業計画）には、卒業認定・学位授与の方針に基づく学修の到達目標、評価基準、授業内容、授業外学修等を具体的に記載します。

(3) 実学教育を重視し実践するために、各専門職に応じた現場実習を段階的に行います。

〔③評価〕

(1) 学年ごとの単位取得率の評価を行うとともに、GPAによって教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を査定します。また、GPAによる学生個人の評価を学修支援・指導に活用します。なお、個々の科目の単位認定にあたっては、到達目標の内容を修得している否かに留意し、厳格な成績評価を行います。

(2) 2年生4月には、1年次で終了している専門必修科目を介護福祉士国家試験に準じて確認試験を実施し、到達度評価を行います。

(3) 2年間の専門的知識・技術の学習評価は、2年次に3回実施する国家試験模擬試験の結果、及び介護福祉士国家試験の結果により学修成果を評価します。

(4) 2年間の学習成果については、上記(1)(2)(3)ならびに、2年次演習科目（ゼミ）における課題研究、介護過程演習Ⅱにおける「私の介護観」の作成・発表によって総合的評価を行います。

(5) 希望する職業へ就職できたかどうか（就職率、資格・免許を活かした専門領域へ就業率）、又は進学等の成否について確認し、学修成果の達成状況を査定します。

(6) 授業評価アンケートを実施し、個々の授業内容、授業方法の改善や組織全体として授業が円滑に運営されているかどうかの検証を行います。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kaigo>）

（概要）

本学科は、卒業認定・学位授与の方針及び教育課程の編成・実施の方針との関連性を踏まえて、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めます。

〔①求める学生像〕

- (1) 高等学校で履修した学習内容について理解し、主要科目に関する基本的な知識を修得できている。
- (2) 本学科の教育方針及び福祉、医療、介護分野に強い関心を持ち、明確な目標と強い意志を有し、その実現に向けて努力できる。
- (3) 自分の意見や考えを正しく論理的に表現できる力を備えている。
- (4) 集団の中で共に学び成長していけるような協調性・柔軟性及び基礎的コミュニケーション能力を有している。
- (5) 生命の尊厳を深く理解し、様々な状況におかれている人々に寄り添える温かな人間性と主体的な態度を有している。
- (6) 知識や技術だけではなく幅広い教養と、より人間的な「心」を養いたいと考えている。

〔②入学選抜の方法〕

次の3つの方法を単独または複数組み合わせ選抜を行う。

- (1) 高等学校等での評定平均値及び活動の履歴・成果等に関する書類審査
- (2) 面接
- (3) 高等学校等での履修科目に対する学力検査

〔③入学前に学習しておくことが期待される学習内容および学習態度〕

- (1) 福祉の専門的知識と技術を学ぶために必要となる基礎的学力（高等学校等で履修した主要教科・科目）及びコミュニケーション能力
- (2) 社会や福祉に対する興味・関心の萌芽、探求的な態度と姿勢

学部等名 こども学科
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html)</p>
<p>(概要) 現代社会のニーズに応えるべく、新しい教育・保育・子育て支援を創造し、子ども分野の専門的知識、技術を備え、実践力を発揮できる人材の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kodomo)</p>
<p>(概要) こども学科では、62単位の単位修得と必修等の条件を充たし、以下の知識と能力を修得した学生に卒業を認定し学位を授与します。</p> <p>【短大共通項目】</p> <p>(1) 本学の目指す建学の精神「大乘仏教精神」に基づく共生の理念と「感恩奉仕」を十分に理解し、自らの人格向上および社会福祉・教育の増進に寄与できる能力を修得している。</p> <p>(2) 現代社会における多様な問題に対して多面的な視点から論理的に分析し、問題を解決する能力を身に付けている。</p> <p>(3) 専門職者としての高い倫理観と使命感を持ち、他者と協働できるコミュニケーション能力を有している。</p> <p>(4) 各種専門職における必要な知識・技能を有し、保育者として社会と地域に貢献できる以下の基礎的な能力・知識・技術を有している。</p> <p>【学科独自項目】</p> <p>1 保育の本質や目的について理解し、子どもや家庭に関する様々な問題に対し、「大乘仏教」、「共生」の精神に基づく自らの考えと社会的責任をもって、行動・表現することができる。</p> <p>2 子どもの発達や成長についての確かな知識を有し、福祉・教育、子育て支援の場において現実的で適切な対応ができる。</p> <p>3 子どもと家庭に関する知識、保育・教育に関する幅広い理論と技術を修得し、多様な環境にある子どもに対して協働的な態度でかかわることができる。</p> <p>4 主体的な学修の中で培われる創造的思考力を用い、実習を通して総合的な保育実践力を身に付ける。</p> <p>5 ボランティアや地域貢献等のさまざまな人間関係を通して自己管理および生涯に亘り学ぶ姿勢を継続できる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kodomo)</p>
<p>(概要) 本学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、次のような教育内容と方法を取り入れた授業を実施し、教育評価を行います。</p> <p>【①教育内容】</p> <p>(1) 卒業必修科目である「宗教」、「共生論」により建学の精神について学ぶと共に、その具体的実践としての地域貢献、「ボランティア活動」を必須とすることで、実社会に主体的に参与する心構えや地域との繋がりなどの共同的な姿勢について体験的に学びます。</p> <p>(2) 教養教育を担う主要な科目群である教養科目を複合的に学ぶことで、専門的な学修に繋がる知識や技能と主体的に学ぶ姿勢・態度、社会人として必要な思考・行動様式を身に付けます。</p>

(3)福祉や教育等の場で求められる知識・技能の修得のための専門科目を分野別に体系的・順次性を考えて配当しています。また、体系的な教育課程を明確化するため、学修成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示した「カリキュラム・マップ」を作成しています。これにより、学修内容の順次性や科目間の関連性、学科全体の学修構造を俯瞰することができます。「教育職員免許法」および「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準」に基づき、免許・専門資格の取得に関する科目からなる教育・保育士養成課程を編成しています。

(4)授業で修得した知識および理論についての体験的な場として、教育実習と保育実習を実施します。実習においては事前から訪問、事後までの一貫した指導を通じて、実習を多面的に評価し「自己成長感」と学び続ける姿勢を身に付けます。

(5)1年次の演習科目(ゼミ)では、初年次教育等を通して短大への適応をはかるとともに、主体的な学びの中で論理的思考力や文章表現力等を修得します。2年次には演習科目(ゼミ)を必修とし、専門科目を中心とする教育内容の統合と総合化を行います。また、1～2年次を通じ、保育や保護者支援に繋がるコミュニケーション・スキルを修得します。

(6)卒業後の希望進路に応じた履修モデルを提示するとともに、学生の適性やキャリア形成を見据えた組織的なキャリア教育を展開します。

[②教育方法]

(1)知識の修得だけでなく、主体的な学びの力を高めるために、参加型授業や授業外の積極的な学修などアクティブラーニングを取り入れた教育方法を実践します。

(2)シラバス(授業計画)には、卒業認定・学位授与の方針に基づく学修の到達目標、評価基準、授業内容、授業外学修等を具体的に記載します。

(3)実学教育を重視し実践するために、各専門職に応じた現場実習を段階的に行います。また、実習の事前・事後学習(事前訪問、ボランティア)、教職実践演習(振り返り観察実習)等を通じての学びの連続性の中で、保育や保護者支援における体験的理解を深めます。

[③評価]

(1)学年ごとの単位取得率の評価を行うとともに、GPAによって教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を査定します。また、GPAによる学生個人の評価を学修支援・指導に活用します。なお、個々の科目の単位認定にあたっては、到達目標の内容を修得しているか否かに留意し、厳格な成績評価を行います。1年次修了時には、資格・免許に必要な専門必修科目の単位取得状況を確認し、2年次での卒業研究を履修する基礎レベルが修得できているか到達度の評価を行います。

(2)実習のなかで、対人専門職としての自己成長の連続性について多面的な評価を行います。また、各実習事前準備段階では「実習準備確認試験」を用い、必要な知識・技能に加え、実習に臨む意欲や姿勢などトータルな準備状態を測ります。

(3)2年間の学修成果については、2年次演習科目(ゼミ)における卒業研究等によって可視化・総合的評価を行います。

(4)希望する職業へ就職できたかどうか(就職率、資格・免許を活かした専門領域への就業率)、または進学等の成否について確認し、学修成果の達成状況を査定します。

(5)短大入学までに身に付けてきた学力や目的意識が、乳幼児の保育や保護者支援の場において持続的なものとなるように、①ボランティアや地域貢献などによる主体的で協働的な態度、②自主的・主体的な表現活動や発表による意欲・表現力、③授業や実習指導以外の事前・事後学習などにみられる自発的で能動的な態度についても多面的な評価を行います。

(6)授業評価アンケートを実施し、個々の授業内容、授業方法の改善や組織全体として授業が円滑に運営されているかどうかの検証を行います。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/policy.html#kodomu>)

(概要)

本学科は、卒業認定・学位授与の方針及び教育課程の編成・実施の方針との関連性を踏まえて、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めます。

[①求める学生像]

- (1) 高等学校で履修した学習内容について理解し、主要科目に関する基本的な知識を修得できている。
- (2) 本学科の教育方針及び教育分野である福祉・教育、子どもに強い関心を持ち、子どもと社会・地域に寄与する保育者になるという強い目的意識と継続的な学習への意欲を有している。
- (3) 自分の意見や考えを正しく論理的に表現できる力を備えている。
- (4) 集団の中で共に学び成長していけるような協調性・柔軟性および基礎的コミュニケーション能力を有している。
- (5) 生命の尊厳を深く理解し、様々な状況におかれている人々に寄り添える温かな人間性と主体的な態度を有している。
- (6) 多様な子どもの気持ちや行動を受入れるみずみずしい感性を備え、一人ひとり異なる子どもの発達や保護者を支援する温かな人間性を有している。

[②入学選抜の方法]

次の3つの方法を単独又は複数組み合わせ選抜を行う。

- (1) 高等学校等での評定平均値及び活動の履歴・成果等に関する書類審査
- (2) 面接
- (3) 高等学校等での履修科目に対する学力検査

[③入学前に学習しておくことが期待される学習内容および学習態度]

- (1) 協働的・主体的に学習を継続し、実習等の場で真摯に学ぶことのできる意欲、基礎的なコミュニケーション能力等（話し、読み、書き、聴く力）
- (2) 子どもや社会、福祉・教育に対する興味・関心の萌芽、探求的な態度と姿勢

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html>

該当箇所：(1) 教育研究上の基本となる組織に関する情報

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	0人	—					0人
健康福祉学科	—	4人	1人	1人	3人	0人	9人
こども学科	—	8人	7人	0人	1人	0人	16人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		82人					84人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：大学ホームページで公開 該当ページ：情報公開について https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html 該当箇所：(3)教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
健康福祉学科	90人	89人	98.9%	180人	156人	86.7%	0人	0人
こども学科	250人	156人	62.4%	500人	364人	72.8%	0人	0人
合計	340人	245人	72.1%	680人	520人	76.5%	0人	0人
(備考) 2021年5月1日現在の学生数より算出(小数点第2位四捨五入)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
健康福祉学科	62人 (100%)	4人 (6.4%)	52人 (83.9%)	6人 (9.7%)
こども学科	216人 (100%)	0人 (0%)	198人 (91.7%)	18人 (8.3%)
合計	278人 (100%)	4人 (1.5%)	250人 (89.9%)	24人 (8.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 総合病院、介護福祉施設、社会福祉施設、保育所、幼稚園 等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
健康福祉学科	76人 (100%)	62人 (81.6%)	4人 (5.3%)	10人 (13.1%)	0人 (0%)
こども学科	229人 (100%)	213人 (93.0%)	3人 (1.3%)	13人 (5.7%)	0人 (0%)
合計	305人 (100%)	275人 (90.2%)	7人 (2.3%)	23人 (7.5%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業計画（シラバス）を統括する教務委員会にて、シラバス掲載項目および記入要領、作成スケジュール等を検討したのち、授業担当教員へ作成依頼する。</p> <p>各授業担当教員が作成したシラバスは、教務委員会にて記入要領に基づき内容を確認し、修正が必要な科目については、当該授業担当教員へ修正依頼する。</p> <p>すべての科目の修正が完了後、教務 WEB システムより、すべての学生・教職員および広く一般に公開される。</p> <p>《授業計画の作成・公表時期》</p> <p>作成時期：12月中旬～</p> <p>公表時期：3月下旬～</p> <p>淑徳大学短期大学部ホームページで公開</p> <p>該当ページ：情報公開について</p> <p>該当箇所：(6) 教育課程に関する情報 シラバス</p> <p>https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</p> <p>ゲストユーザーでログイン</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価は、平成 28 年度入学生より GPA 制度を適用し、ホームページにて公表している。</p> <p>また学生には、年度当初のオリエンテーションにて制度の運用について説明し、制度による学修状況の把握と、表彰、フォローアップについて案内している。</p> <p>なお、編入生や、入学前の既修得単位等の認定科目については、GPA の算出除外とし、その旨を「GPA 制度に関する規程」に定めている。</p> <p>《GPA 算出方法》</p> $GPA = [(\text{履修した科目の単位数} \times GP) \text{の合計}] / [\text{履修した科目の単位数の合計}]$ <p>《GPA 制度による学生指導》</p> <p>(1) 1 学期（1 セメスター）の GPA が 1.0 未満となった学生は、本人を呼び出しゼミ担当教員及び学事部が注意と指導を行う。</p> <p>(2) GPA 1.0 未満が 2 学期（2 セメスター）連続した学生は、ゼミ担当教員及び学事部が今後の履修計画について面談を行う。</p>
--

なお、面談においては、必要に応じて保証人（保護者等）の同伴を求める場合がある。
 (3) GPA 1.0 未満が3学期（3セメスター）以上連続した学生は、ゼミ担当教員及び学科長が就学意志の確認を行い、就学意志がある場合には、ゼミ担当教員と学事部が履修計画を抜本的に見直すなど学習相談・指導を行う。

《GPA 制度による表彰》

卒業時における学内表彰の選出について参考資料とする。

淑徳大学短期大学部ホームページで公開

該当ページ：情報公開について

該当箇所：(7) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

<https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html>

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
健康福祉学科	社会福祉専攻	62 単位	有・無	単位
	介護福祉専攻	62 単位	有・無	単位
こども学科		62 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html>

<https://www.jc.shukutoku.ac.jp/campus/guide.html>

該当箇所：情報公開＞(8) 学習環境に関する情報

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
健康福祉学科	社会福祉専攻	870,000円	200,000円	200,000円	施設維持費
	介護福祉専攻	935,000円	200,000円	200,000円	施設維持費
こども学科		900,000円	200,000円	200,000円	施設維持費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 履修支援・生活支援・経済支援 組織名：学事部 取組：履修指導を含む資格取得についての指導、個別相談 不動産業者紹介、求人票(アルバイト)掲示 奨学金制度の紹介
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 就職支援・進学支援 組織名：キャリア支援室 取組：求人票の開示、就職・進学ガイダンス開催、学内推薦企業紹介 就職・進学に関する個別面談・相談
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 保健・衛生・メンタルヘルス等 組織名：保健相談室・学生相談室 取組：保健師による応急手当て及び健康相談 臨床心理士(カウンセラー)による個別面接・相談

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.html 該当箇所：(3) 教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F213310104277
学校名	淑徳大学短期大学部
設置者名	学校法人 大乘淑徳学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		49人	46人	50人
内訳	第Ⅰ区分	28人	29人	
	第Ⅱ区分	17人	13人	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				－
合計（年間）				51人
(備考) 前期：第Ⅰ区分／後期：家計急変（第Ⅰ区分） 1名→家計急変としてカウント				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		—	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	11人
計		—	11人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
	0人	0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		13人	14人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		13人	14人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。